

作業療法の知・技・理

論文題名	発表誌名	巻号	頁	年
知の章－作業活動の考え方使い方				
発散的な意識化を促す描画の利用	作業療法	9(2)	124-130	1990
作業療法における物の利用-術後歩行困難となった接枝分裂病患者-	作業療法	11(3)	274-281	1992
退行現象を伴う寛解過程における作業活動の力動的観点からみた役割-精神分裂病少女の寛解過程より	作業療法	12(3)	229-237	1993
作業療法と園芸-現象学的作業分析-	作業療法	14(1)	17- 23	1995
植物という命とのかかわり	総合ケア	11(4)	76- 79	2001
作業療法と音楽	音楽医療研究	3		
記憶を呼び戻したピアノの役割-自殺未遂後記憶を失った分裂病患者の場合	作業療法	10(4)	327-335	1991
技の章－作業療法のかかわり				
作業療法過程にみられるダブル・バインド-主体性を損なわない関わりを求めて	作業療法	12(4)	296-302	1993
「ふれない」ことの治療的意味-汚言に葛藤する患者の対処行動と自己治癒過程より	作業療法	16(5)	360-367	1997
作業療法における「つたわり」-ことばを超えたコミュニケーション	作業療法	17(6)	477-484	1998
からだの声に耳を傾けて聴くこころの声-身体化症状によりADL全介助となった少女の回復過程より	作業療法	19(6)	546-553	2000
幻想と現実の分離・再統合における作業療法の機能-分裂病性強迫障害・認知障害の事例より	作業療法	23(2)	125-132	2004
理の章－作業療法の視点				
町の中の小さな畑から-慢性老人分裂病者を支える-	作業療法	13(3)	224-233	1994
分裂病障害にとっての集団と場	作業療法ジャーナル	29(2)	88- 93	1995
パラレルな場（トポス）の利用	作業療法	18(2)	118-125	1999
「パラレルな場」という治療構造：ひとの集まりの場の治療的利用	コミュニケーション障害学	26(3)	187-191	2010
コミュニケーションとしての作業・身体	作業療法	25(5)	393-400	2006
心身統合の喪失と回復-コミュニケーションプロセスとしてみる作業療法の治療機序	作業療法	27(1)	73- 82	2008
作業療法とスピリチュアルケア-作業を通して生活（史）を聴く-	緩和ケア	9	467-470	2005
泣く・笑う-悲哀の仕事と作業療法	作業療法ジャーナル	41(1)	25- 30	2007
愛しい、結ばれ、命を宿し、産み、育てる；障害がある人たちの生活支援をICFの視点から	作業療法ジャーナル	44(7)	558-562	2010
地域の人々への啓発；気づきと学びの場『拾円塾』	こころの科学		32- 37	2010